

上下水道事業検討委員会 (第2回会議)

平成30年2月23日

(2) 第1回会議における確認事項

① 都市計画とコンパクトシティ

宇部市の都市計画と用途地域

凡例

- 市域界
- DD地区
- 用途地域
- 用途地域
〈その他の値すべて〉
- A29_005
- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

吉部及び万倉の一部
地域を除く

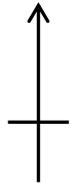
山陽小野田市

山口市



宇部市のコンパクトシティ

○交通ネットワークの形成検討
※地域公共交通網形成計画と連携



凡例

	商業・業務地ゾーン
	住宅地ゾーン
	産業・研究施設地ゾーン
	田園集落地ゾーン
	自然環境ゾーン
	市街地周辺緑地ゾーン
	広域連携軸
	都市幹線軸
	地域間連携軸
	主要幹線軸（バス軸）
	地域内幹線軸 ・地域内支線（バス軸）
	J R 軸
	都市拠点
	地域拠点
	地域コミュニティ核

○都市機能誘導区域の設定検討

○居住誘導区域の設定検討

② 国土交通省の方針
(汚水整備の考え方)

② 国土交通省（污水整備の考え方）

- 都道府県構想の見直しと10年概成

国土交通省、農林水産省、環境省
が共同で

【都道府県構想策定マニュアル】
を策定（平成26年1月）

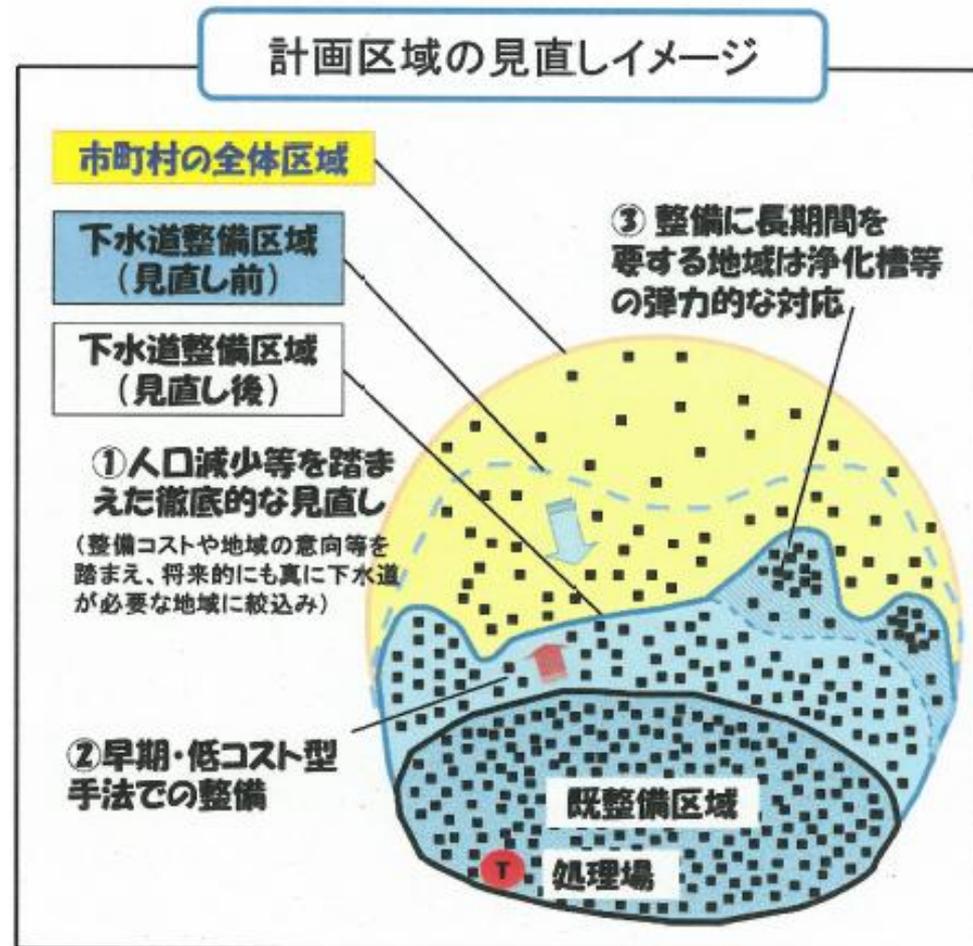
⇒ 人口減少(高齢化)、経済性、
整備時期等を踏まえた
「徹底的な下水道区域の見直し」
を要請

<概成の目安>

汚水処理人口普及率95%

宇部市の普及率

⇒ 90.8% (H29.3月末)



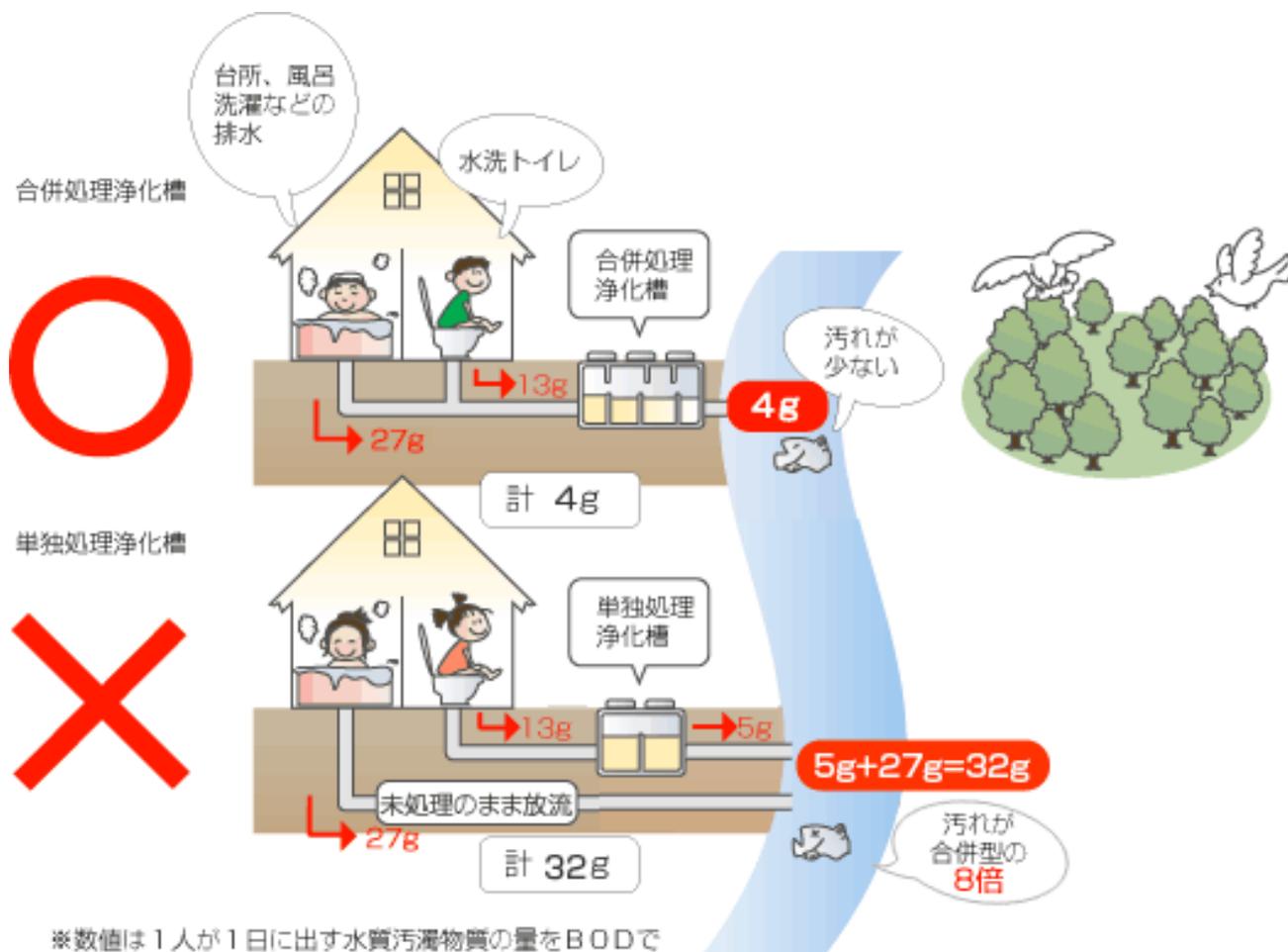
(国土交通省の都道府県構想配布資料より引用)

③ 合併浄化槽について

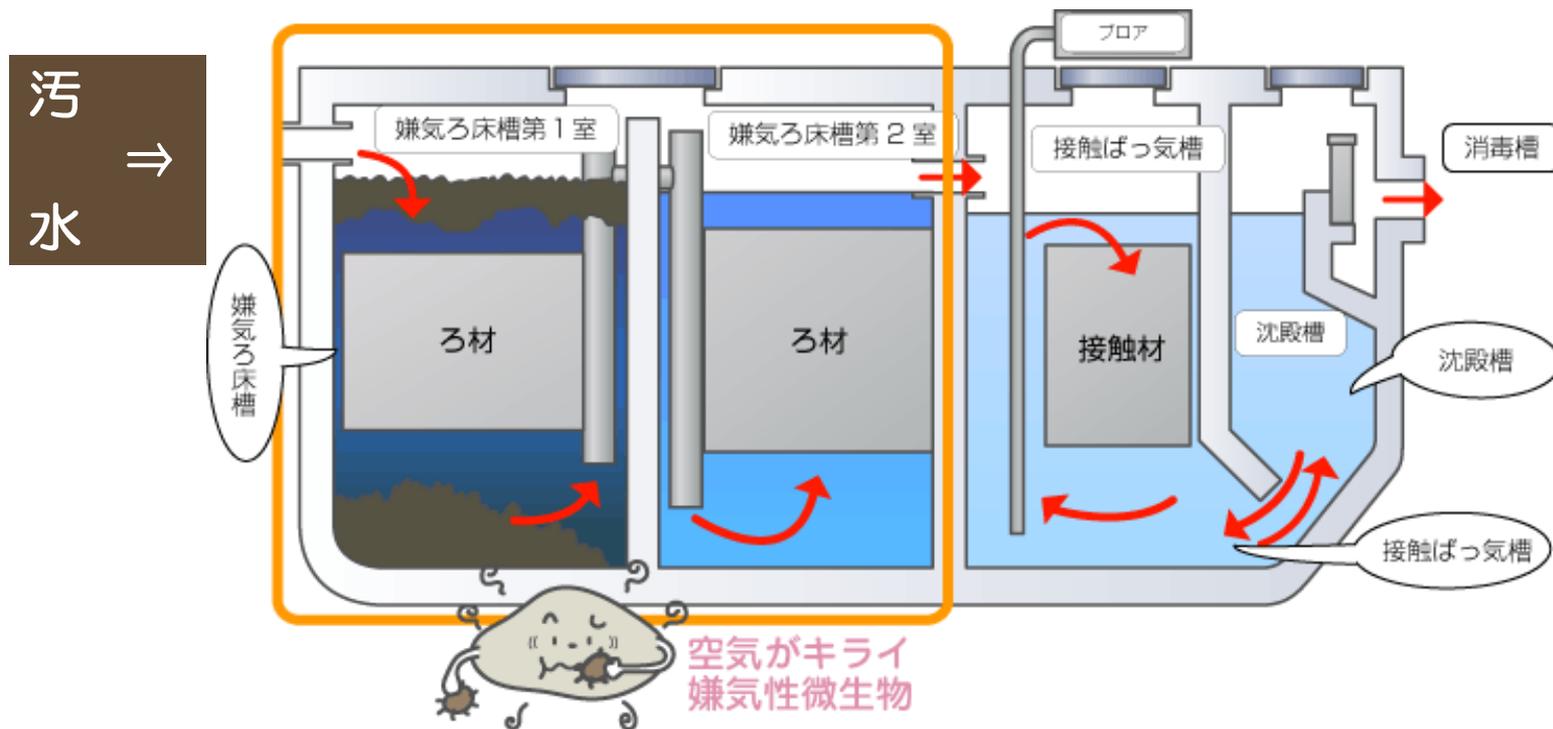
- a) 浄化槽の概要
- b) 浄化槽の仕組み

③ 合併浄化槽（浄化槽の概要）

・ 浄化槽の種類

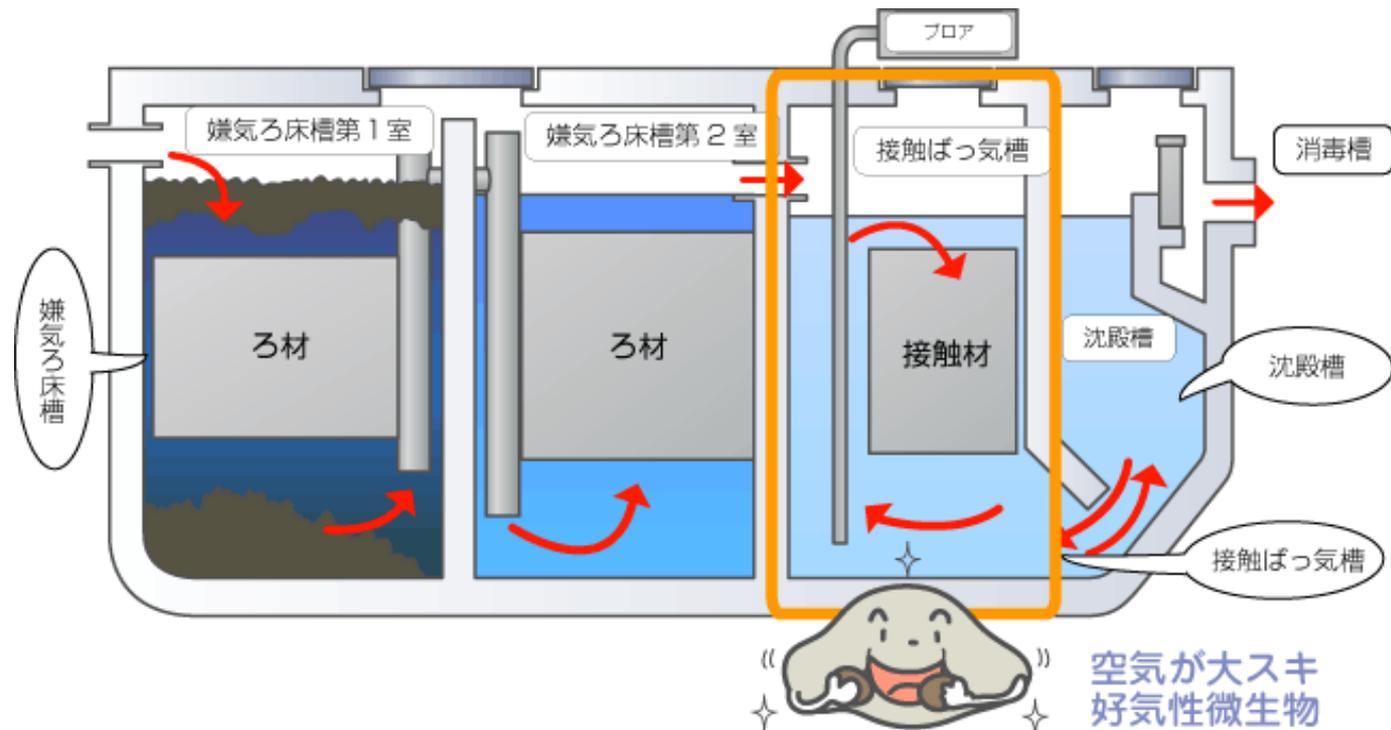


③ 合併浄化槽（浄化槽の仕組み）



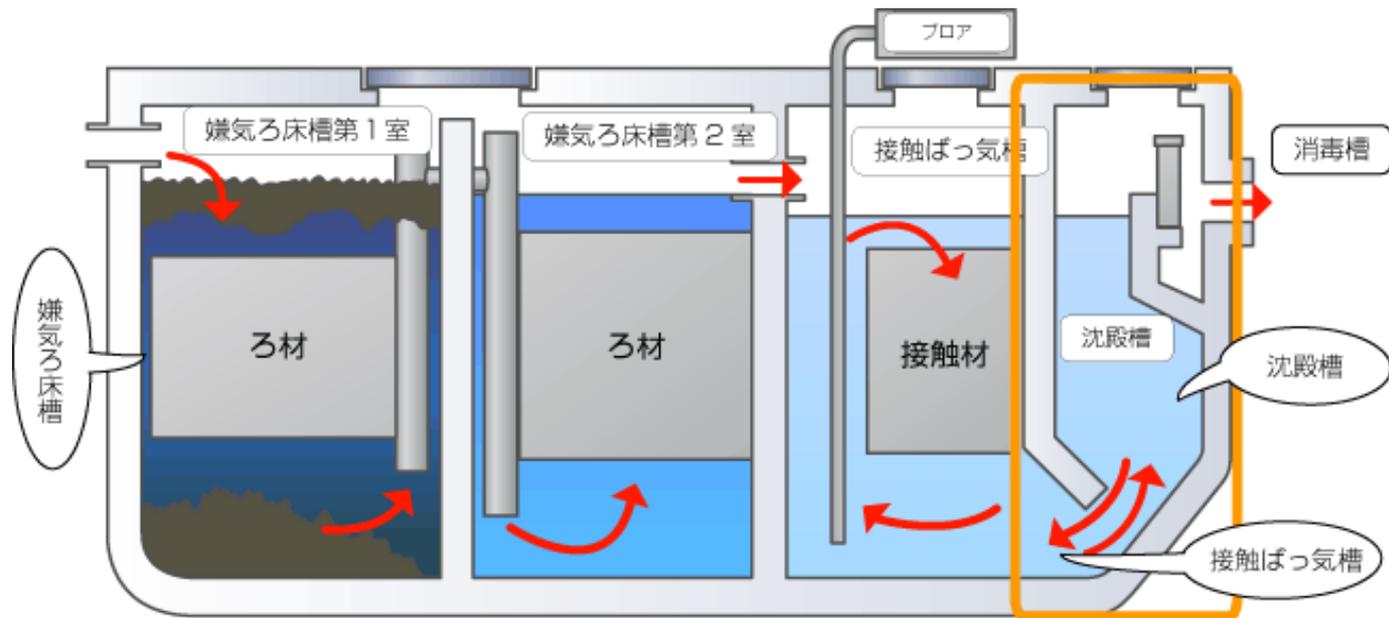
(環境省のホームページより引用)

③ 合併浄化槽（浄化槽の仕組み）



(環境省のホームページより引用)

③ 合併浄化槽（浄化槽の仕組み）



(環境省のホームページより引用)

(3) 今後の考えられる方向性について

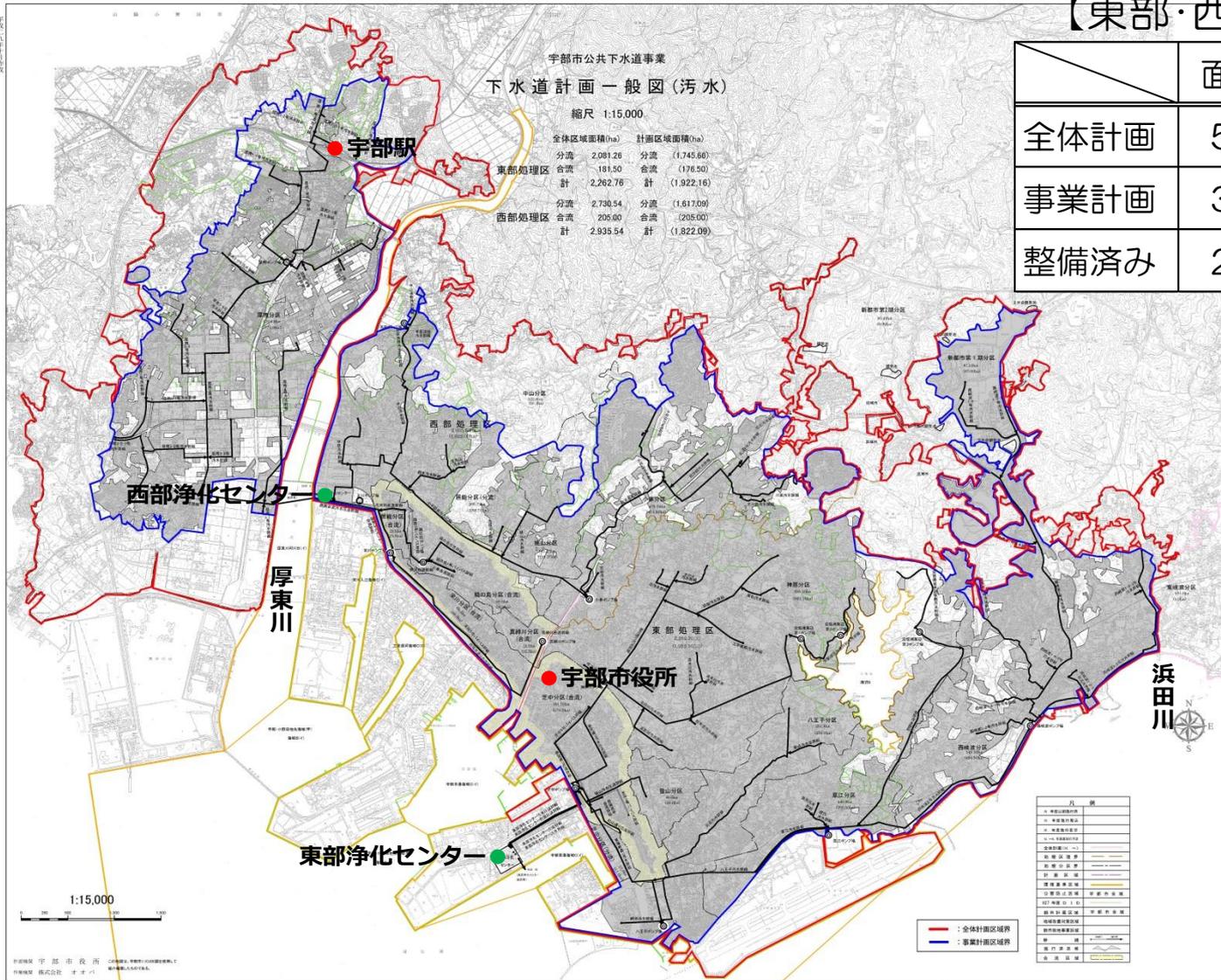
A案) 現計画の推進 (集合処理)

B案) 整備計画の見直し (個別処理への転換)

(3) 今後の考えられる方向性

【東部・西部処理区】

	面積(ha)	整備率
全体計画	5,198	55%
事業計画	3,744	77%
整備済み	2,874	—



(3) 今後の考えられる方向性

『考えられる方向性』

A案『現計画を推進（集合処理）』

問題点1： 汚水の普及促進に対して時間を要する

問題点2： 維持管理する資産が増大

問題点3： 既存の開発団地は、合併浄化槽が普及

B案『整備計画の見直し（個別処理への転換）』

問題点1： 計画縮小に伴う地域住民の理解

問題点2： 合併浄化槽の補助制度の見直し

(3) 今後の考えられる方向性

- A案) 現計画を推進 (集合処理)

○ 問題点1 : 汚水の普及促進に対して

時間を要する

- 事業認可面積 ⇒ 3, 926. 7ha
- 整備済 面積 ⇒ 3, 037. 2ha
- 未整備 面積 ⇒ 889. 5ha
- 未整備の割合 ⇒ 22. 7%

※ 1 ha当たりの整備費用 = 約1,500万円
(889. 5ha×1500万円=約1 33億4,000万円)

(3) 今後の考えられる方向性

- A案) 現計画を推進 (集合処理)

○ 問題点1 : 汚水の普及促進に対して
時間を要する

- 事業計画区域の
未整備残面積 ⇒ 約180ha
- 総事業費 (試算額) ⇒ 約35億円
- 1年間の投資額 ⇒ 約1億円

※ 整備期間 ⇒ 約35年間

(3) 今後の考えられる方向性

- A案) 現計画を推進 (集合処理)

○ 問題点2 : 維持管理する資産が増大

- 管渠の延長 ⇒ 約740 km
- 同一箇所での調査頻度 ⇒ 約30年に一度
 - ※ 重要な施設
- 管渠の調査業務 ⇒ 約4,100万円
 - ※ 20~25km当たり

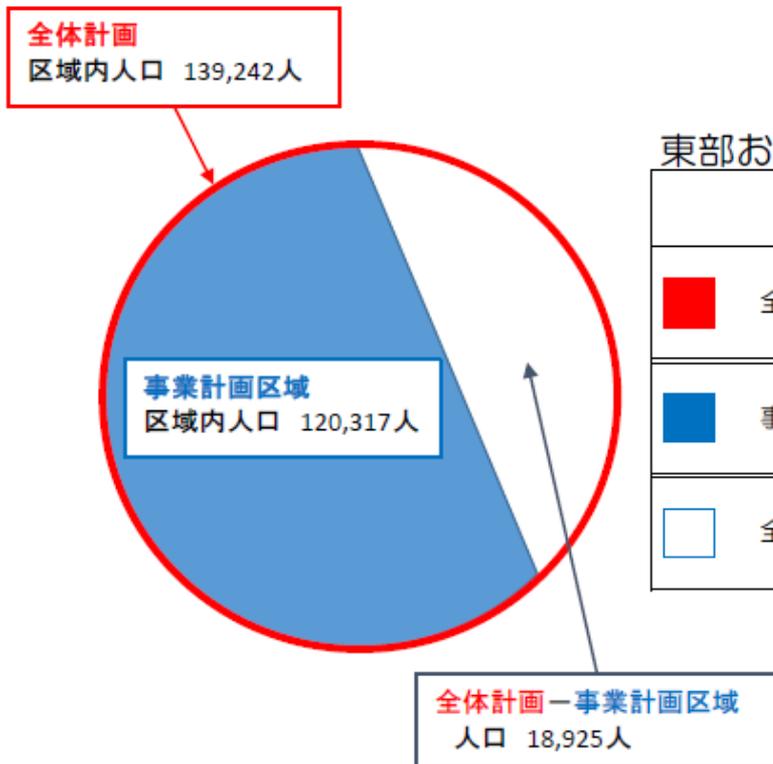
※ 総調査費 ⇒ 約12億3,000万円

(3) 今後の考えられる方向性

- A案) 現計画を推進 (集合処理)

○ 問題点3 : 既存の開発団地は、
合併浄化槽が普及

東部処理区および西部処理区のイメージ図



東部および西部処理区における汚水処理普及状況

(単位:人)

	区域内人口	公共下水道 供用人口	浄化槽人口	し尿汲取り
■ 全体計画区域	139,242	118,546	12,624	8,072
	100.0%	85.1%	9.1%	5.8%
■ 事業計画区域	120,317	115,140	1,874	3,303
	100.0%	95.7%	1.6%	2.7%
□ 全体計画区域 - 事業計画区域	18,925	3,406	10,750	4,769
	100.0%	18.0%	56.8%	25.2%

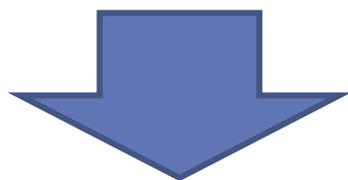
(平成29年3月末現在)

(3) 今後の考えられる方向性

B案『整備計画の見直し（個別処理への転換）』

問題点1： 計画縮小に伴う地域住民の理解

問題点2： 合併浄化槽の補助制度の見直し



合併浄化槽の補助制度と費用

(3) 今後の考えられる方向性

- 合併浄化槽の補助制度

- 補助金交付の対象者

宇部市内の住宅に浄化槽を設置される方

※ 新築住宅（建替えを含む）の浄化槽

⇒ 補助対象外

- 補助金交付の対象区域

公共下水道事業計画区域を除く

農業集落排水事業計画区域を除く

(3) 今後の考えられる方向性

- 合併浄化槽の補助制度

- 補助金の交付額

- 5人槽（延べ床面積130m²以下の住宅）

⇒ 332,000円

- 7人槽（延べ床面積130m²超えの住宅）

⇒ 414,000円

- 10人槽（2世帯住宅）

⇒ 548,000円

※ 台所及び浴室がそれぞれ2箇所

(3) 今後の考えられる方向性

• 合併浄化槽の建設費用と維持管理費用

汚水処理構想マニュアルで示す費用

表-1 <建設費用>

5人槽	割合	費用
本体費用	55%	460,000 円/基
付属機器設備類費用	5%	42,000 円/基
設置工事費用	40%	335,000 円/基
計		837,000 円/基

※ 費用は、千円単位で四捨五入



表-2 <建設費用>

H27~28実績の平均	844,000 円/基
-------------	-------------

※ 市 廃棄物対策課から情報提供

表-3 <維持管理費用>

5人槽	年間費用
維持管理費用	65,000 円/基

- ※1 保守点検費用(薬品代を含む)
- ※2 清掃費用
- ※3 法定検査費用
- ※4 電気代
- ※5 機器交換費用(プロワ等)

(3) 今後の考えられる方向性

公共下水道と合併浄化槽の費用設定根拠

公共下水道

項目		数量	根拠資料等
公共 下水道	排水設備建設費	600,000 円/戸	1戸当たりの推定
	下水道使用量 (2ヶ月分)	13 m ³	1人当たりの推定の下水道使用量
	受益者負担金	77,760 円/戸	約80坪(A=259.2m ²)/戸

公共下水道料金

住居人数/世帯	使用量	使用料 (2ヶ月分)	各世帯当たりの下水道の1年間使用料金
2	26 m ³	3,812円	2人世帯 ⇒ 3,812(円/2ヶ月分)×6回= 22,872円
3	39 m ³	5,988円	3人世帯 ⇒ 5,988(円/2ヶ月分)×6回= 35,928円
5	65 m ³	10,827円	5人世帯 ⇒ 10,827(円/2ヶ月分)×6回= 64,962円

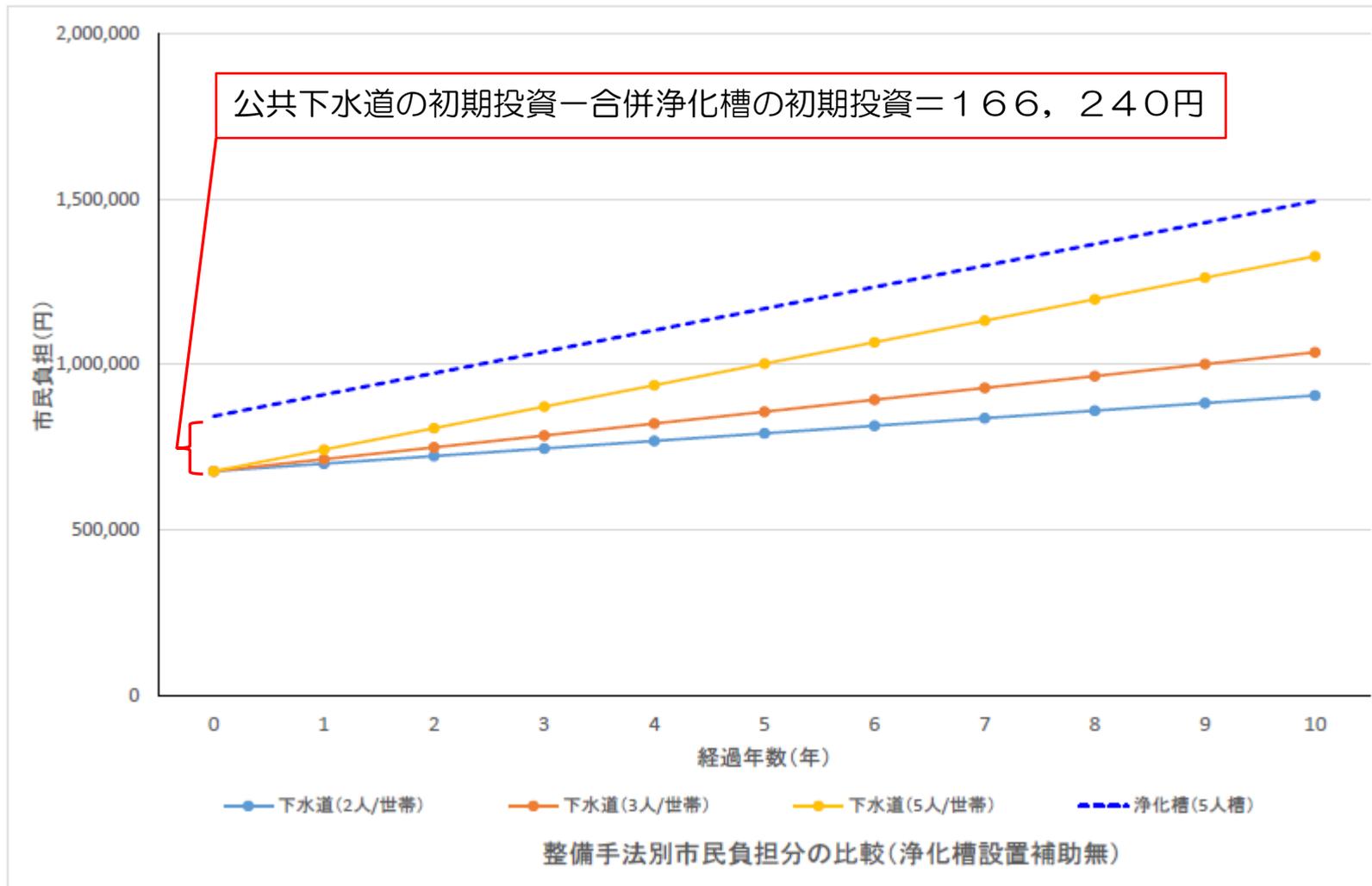
※ 水道料金を除いた下水道使用料のみ費用

合併浄化槽

項目		数量	根拠資料等
5 人 槽	5人槽建設費	844,000 円/戸	H27~H28実績の平均
	5人槽法定検査	65,000 円/年	汚水処理構想マニュアル
	5人槽助成金	332,000 円/回	宇部市現行の補助制度

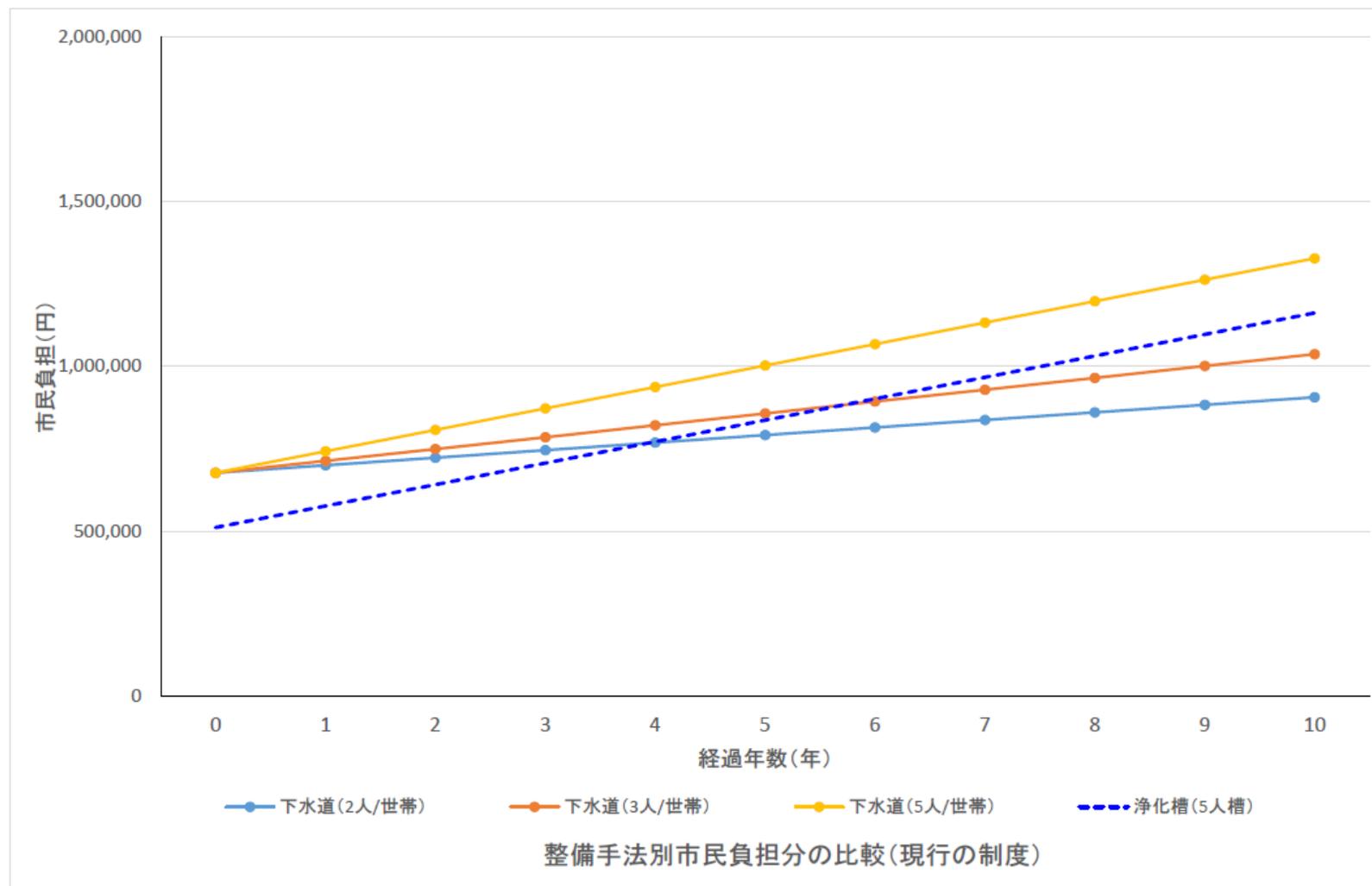
○ 公共下水道と合併浄化槽の費用比較

- 浄化槽補助制度なし（下水道事業計画区域内）



○ 公共下水道と合併浄化槽の費用比較

- 浄化槽補助制度あり（下水道事業計画区域 外）



memo

memo